

皆様におかれましては、何かとご多用の折、定刻までにお集まりいただきましてありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます教科用図書採択海部地区協議会事務局の村井と申します。よろしくお祈いします。

皆様のお手元にある次第にそつて、会を進めさせていただきます。

なお、本日は2番の前田 豊様が都合によりご欠席されると承つております。

先回もお配りしましたが、教科用図書選定に関する法令及び規則等について、お手元に資料として置いてありますので、適宜、ご覧ください。

## 1 開会のことば

(事務局員)

ただ今から、平成29年度第2回教科用図書採択海部地区協議会を始めさせていただきます。なお、本日配付の文書につきましては、秘密保持のため、閉会后、協議会要項、調査研究報告書については回収させていただきますので、ご協力よろしくお祈いします。

## 2 会長選出

(事務局員)

会に先立ちまして、ご存知の方の多いと思いますが、本協議会会長、加藤良邦 愛西市教育委員会教育長が6月30日をもって、愛西市教育委員会教育長をご勇退なされました。7月1日より平尾理様が愛西市教育長に就任されました。教科用図書採択海部地区協議会規約第4条の2に委員の任期は1年とする。ただし、任期の途中で委員が交代した場合における後任の任期は、前任者の残任期間とするとあります。よつて本日、平尾理 愛西市教育委員会教育長には、委員として入つてもらつております。平尾理委員、自己紹介をお願いします。

(委員)

7月1日から愛西市委員会教育長として大役を仰せつかりました平尾 理です。どうぞよろしくお祈いします。

(事務局員)

平尾委員ありがとうございました。

7月1日より会長が不在のため、会長の選出をしたいと思ひます。

3ページの規約 第5条1項により会長及び副会長は、委員のうちから互選するとありますが、どのようにさせていただきますしょう。

(奥山委員)

弥富市教育委員会教育長の奥山です。

会長には、愛西市教育委員会教育長の平尾理様を推薦いたします。

(事務局員)

ただ今、会長に 愛西市教育委員会教育長 平尾 理様が推薦されました。

同意いただける方は、拍手をお願いします。

----- ( 拍 手 ) -----

ありがとうございました。

それでは、会長に、愛西市教育委員会教育長 平尾 理 様が決まりました。

なお、本日の議事署名者を、学識経験者(元名古屋芸術大学人間発達部)の伊藤様と津島市学校保健会会長平野様にお祈いいたします。

それでは、平尾会長、席の移動をお願いします。

### 3 会長あいさつ

(事務局員)

それでは、採択協議会会長 平尾 理 愛西市教育委員会教育長がご挨拶を申し上げます。

(会長)

皆様、こんにちは。ただ今本協議会の会長に選任されました平尾 理でございます。

さて、本日は、教科用図書採択海部地区協議会ということで皆様にお集まりいただきました。今年度は、学習指導要領の改訂に伴い、特別の教科 道徳（小学校）の教科用図書の採択年ということで教科用図書の採択が行われます。この採択地区協議会は、海部地区7市町村で、平成30年度に使用される教科書を選んでいただくための会です。新聞・出版社等、地域の皆さんも、この会の動向に非常に注目していることと思います。

夢と希望あふれる子どもたちが、将来を担う社会人としての基礎基本を身につけるためにも、教科書は大変重要なものになります。その意味でも、学校関係者だけで教科書を考える時代は終わりました。義務教育の専門以外の方にも委員としてお集まりいただき、多くの方々と、積極的に情報を交換し、知恵を出し合いながら、児童生徒のために、よりよい教科書の選定をお願いしたいと思います。また、選定のあと、それぞれの市町村教育委員会において、本協議会の選定結果を生かしていただくために、海部地区7市町村の教育長の皆様にも委員として参加をいただきました。皆様方の真摯なご協議にご期待を申し上げまして、皆様への挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

### 4 経過および選定事務説明

(事務局員)

経過および採択事務について、事務局より説明をさせていただきます。

—経過—

5月24日に第1回の協議会を開催し、委員の皆様を委嘱し、8名の研究員の承認をいただきました。それを受けて、5月31日に第1回教科用図書研究会を行い、採択基準や選定資料等にもとづく公平公正な調査研究を依頼しました。6月30日までに2回、合計3回の研究会を開催し、本日、その報告をしていただきます。調査研究と並行して、6月9日から7月3日まで飛島図書館において、教科書展示会を開催し、30年度使用教科用図書を見てもらう機会を設けました。のべ約64名の方々からアンケート用紙100枚ほどのご意見が寄せられました。

実話に基づいた心に響く教材、自分を見つめなおす教材、人としての優しさに触れる教材、子どもたちの自律を助ける教材等が多く含まれた教科書をとというご意見もありました。特定の考えを押し付けた教材、政治色の認められる教材、礼儀作法・伝統文化に触れた教材が含まれた教科書に対する批判的なご意見がありました。

多くのご意見を頂きましたが、同一人物と思われる方が何枚も同様のアンケートをご記入いただいております、これが即、多くの方の意見とは捉えられないということを感じました。

—採択事務—

このあと、15分程度の調査研究報告をしていただきます。そして、質疑応答を5分程度ほどとります。事前にいろいろな教科書もご覧いただいておりますが、室内に教科書をご用意しましたので、ご覧いただきながらご審議下さい。研究部の意向以外の教科書についてもご意見がありましたらお願いします。

質疑応答後、研究員には退席をしてもらいます。そして、すぐに選定協議に移ります。

—選定後の予定—

本協議会の選定結果を、明日、各市町村教育委員会に通知させていただきます。その後、各市町村教育委員会にて採択された結果を8月10日までに、本協議会にご報告下さい。その後、8月18日までに海部教育事務所へ報告するという流れになっています。

8月31日まで、採択結果は非公開となっております。本日の協議会で知り得た内容は、9月1日まで口外なされませんようよろしくお願いいたします。

—留意点—

選定にあたっての基本的なことがらについて確認をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。

4ページの採択基準の「基本的な方針」の7にありますように、教科書の選定にあたっては、県教委の示す採択基準や教科書選定資料等を尊重するとあります。

以上、ご留意いただき、選定をお願いします。

## 5 選定協議

(事務局員)

それでは選定協議に移ります。ここからの取り回しを、会長をお願いします。

(会長)

それでは、「特別の教科 道徳」の選定協議を始めます。

各市町村教育委員会で「特別の教科 道徳」の教科書採択について、話し合いがなされたと思います。特に話題になったことがあれば、お伝えください。

特にないようですので、研究部の報告並びに質疑応答に入っていきたいと思います。

事務局は、「特別の教科 道徳」の研究員を中に入れてください。

### <特別の教科 道徳 研究員入室>

(研究員)

失礼します。研究部の部長を務めさせていただいています飛島学園飛島小学校の古田と申します。よろしくをお願いします。

研究部では、1の学習指導要領との関連から5の印刷・造本等の観点において、8社の教科書について比較・検討して参りました。その報告をさせていただきます。

最初に、指導要領との関連について報告します。

東京書籍は、考え議論することができるように工夫されています。

学校図書は、中心発問が示され、考えを深めたり自分を見つめたりできるように工夫されています。

教育出版は、問題解決的な学習や体験的な学習ができるように、発問が工夫されています。

光村図書は、多様な形式で掲載されており、児童の関心意欲を高め、主体的に考えられるように発問が工夫されています。

日本文教出版は、問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、道徳的諸価値に対する理解を深めたりすることができるように工夫されています。

光文書院は、「問い」「考える」「まとめる」「広げる」が示され、実生活に生かせるように編集されています。

学研は、道徳的価値を生かし、自分の生き方につなげたり、考えを深めたりできるように編集されています。

あかつきは、本冊で共同的な学びを具体的に示し、別冊ノートで自問や内省を促すように構成されています。

次に、「愛知の教育の基本理念」との関連について報告します。

東京書籍は、いじめに関わる教材、情報モラルに関わる教材を採り上げ、人としての在り方・生き方を考えられるように工夫されています。

学校図書は、命を大切に、多様な人々の存在を尊重して生きることのできる人間を育てられるよう配慮されています。

教育出版は、人の生き方に学ぶ教材を多く採り上げ、多様な社会で生き抜く人間を育てるよう工夫されています。

光村図書は、問題の解決策を考えたり、他の意見を認めたりする学習に取り組み、自らを高

めることができるように工夫されています。

日本文教出版は、「いじめ」についての教材を採り上げ、共に生きようとする心を育むよう工夫されています。

光文書院は、実際に道徳的行為を行い、そのよさや難しさ等を体験することで、自らを高めることができるよう配慮されています。

学研は、「自分ならどうする」という発問が設けられ、自己の生き方に結びつけて考えることができるように工夫されています。

あかつきは、生命尊重教材を連続して配置し、多様な価値をもつ人々の存在を尊重する心を育てるように編集されています。

次に、内容について報告します。

東京書籍は、読み物教材で学習したことを振り返り、生活に生かせるような配列になっています。特に、身近な生活場面を採り上げた教材、悩みや葛藤、心の揺れを採り上げた教材を複数配置し、繰り返して指導を行い、深い学びができるよう工夫されています。また、言語活動を充実させるために、「出会う・ふれ合う」というページが設定されています。

学校図書は、発達段階に応じて、生命の尊厳、スポーツ、生き方、情報モラルについての教材を「読み物コラム」として取り扱っています。また、本冊「読みもの」と別冊「活動」の2部構成になっており、考え議論できる内容になっています。別冊「活動」には、自分の考えも書くことができ、評価にも役立つ構成になっています。

教育出版は、児童の発達段階に応じて、内容項目を反映した教材を選択し、年間行事と関連させた指導ができるよう配列が工夫されています。さらに、教材の中に役割演技やモラルスキルトレーニングを取り入れ、道徳的実践意欲と態度を育てるよう構成されています。また、「学びの手引き」を設け、問題解決的な展開やアクティブラーニングを意識した授業ができるよう発問が選択できるようになっています。

光村図書は、全学年を通して、いじめ・情報モラルに関する教材とコラムを組み合わせる「ユニット」を設定し、系統立てて学べるように編集されています。また、教材の最後に「考えよう」を設け、多面的・多角的に考えを深めることができるよう発問が工夫されています。

日本文教出版は、生活体験に即した身近な教材が掲載されており、経験を基にそれぞれの考えを引き出すことができる内容になっています。また、各学年に「学習の手引き」のページが提示され、問題解決的な学習や体験的な学習など多様な学習が展開できるよう配慮されています。別冊「道徳ノート」については、振り返りや学期ごとの保護者記入欄を設けることで、自分の成長を感じさせ、肯定的な自己評価につながるよう工夫されています。

光文書院は、自分のこととして考えやすい教材や人間として生き方に迫る教材、現代的な課題を扱う教材など、多様な内容が選択されています。また、各教材の下段に、考えを広げたり深めたりする投げかけが配置されており、問題解決的な展開ができるように考慮されています。

学研は、「いじめの問題」や「いのちの教育」について重点的に学習できるように配列されています。また、ロールプレイ等を取り入れる「やってみよう」のページでは、主体的な学びや体験的な学びができ、「つなげよう」「広げよう」のページでは、学んだことを書き留めたり、深く考えたりできるように工夫されています。

あかつきは、児童の発達段階を考慮し、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさを理解し、よりよく生きる喜びや勇気、感動を味わえる教材が効果的に編集され、問題意識をもって考え話し合うことができます。別冊「道徳ノート」では、自己の成長を実感できる工夫やマークに色を塗るなど、振り返りが簡単にできる工夫がされています。

次に、表記・表現及び使用上の便宜等について報告します。

各社とも、挿絵やイラスト、写真等を効果的に配置し、児童の興味・関心を引くように工夫されています。また、目次や教材ごとに、4つの視点がわかるように示してあります。色で区別している出版社は、東京書籍、教育出版、日本文教出版、光文書院、あかつきで、マークで区別している出版社が、学校図書、学研、光村図書となっています。

最後に、印刷・製本等について報告します。

各社とも、大きめの文字を使用したり、配色やフォントを工夫したりするなど、読みやすい紙面作りをしています。教科書の大きさについては、小さいものからB5版が光村図書、AB版が東京書籍、学校図書、教育出版、日本文教出版、あかつき、A4変形版が光文書院、A4版が学研となっています。

どの出版社も、それぞれ長所があり、なかなか絞ることができませんでしたが、最終的に2社に絞って検討を続けてきました。研究員の中でも意見が分かれ、最後まで決めかねていました。しかし、研究会の意見として1社に絞らなければならず、苦渋の選択をいたしました。研究会といたしましては、担任として授業を行うとき、様々な形の発問が用意され、児童の実態や教師の力量に応じて、発問を選択して授業を行うことができる教育出版を、研究員の意向として報告させていただきます。

以上で報告を終わります。

(会長)

今の報告に対してご質問はありませんか？

(委員)

ただいま、研究会のお話をお聞きしましたが、教育出版社が1社ですが、もう1社はどこになりますでしょうか。その出版社のものが、他のものに比べて優れている点も教えてください。

(研究員)

最後まで候補に挙がっていました出版社は日本文教出版です。こちらの出版社の良い点は、教材の始めに人物の紹介、授業で考えさせたいポイントなどが明記されているところです。考えを深めるために、吹き出しがあり、動作化や役割演技などの工夫が見られます。さらに巻末では主発問と、今後の生き方に対する問いかけがシンプルに書かれており、少経験者でも扱いやすい教科書になっているのではないかと考えています。また、児童にとっても教材の後に、興味関心を高めるコラムがあるなど、見やすく分かりやすく編集されているという意見が多く、この2社で迷ったところでございます。

(会長)

教育出版と日本文教出版の2社が甲乙つけがたかったということですか。

(研究員)

そうです。

(会長)

では、その他ございませんか。

(委員)

教科書に関しては、公正公平が必要です。教育委員の中には、教育出版社は本文の主旨と直接かかわりのない現職の政治家の写真が掲載されていることを懸念されている方もお見えでした。

この辺りのことについて研究会では、話題に上がりましたか。

(研究員)

私たちの研究会の中では本文と写真というよりは、本文を読んで、それに対する発問とか授業展開を中心に考えさせていただきました。基本的に検定を通っているということですから、授業に立つ側の教師として本文を重視して選定したということでございます。

(会長)

ありがとうございました。その他ありますか。

(委員)

愛知県では「明るい心」を取り扱ってきています。教科書ではないものの、現在、副教材として先生が使っている「明るい心」の教材が、どれくらい今回の検定に通った教科書に使われていますか。先生方も「この教材いい」「この教材を採りあげてほしい」というものがあると思います。教科書の中で海部地区の先生方に「これは」という教材がありましたら教えてください。

(研究員)

かなりたくさん「明るい心」の教材が採り上げられていました。日本文教出版は22の教材が採り上げられています。一番少なくて教育出版が9つで、その他も12、13のところが多いかなという感じです。全部で30の教材が採り上げられています。必ず採り上げられているのが1年生の「かぼちゃのつる」「橋の上のおおかみ」、3年生の「花さき山」4年生の「ブラッドレーの請求書」6年生の「手品師」は8社すべてに採り上げられています。研究員が読んでもいい教材と思うものは採り上げられています。

(会長)

よろしいですか。その他はありますか。

(委員)

教科書によっては、別冊のノートがありますが、こういったものの評価はどうなっていますか。

(研究員)

ノートにつきましては、学校図書、日本文教出版、あかつきの3社でございます。学校図書は発問に対して自分の考えを書く欄があります。欄は小さめですが、考えを広めるページがついています。他の2社はシンプルな作りになっていますが、日本文教出版が1教材1ページ、あかつきが1教材2ページでノートの厚さが違います。ノートがある教科書は、児童が個々に考えを残し、教師も評価に活用できる利点があります。残りの5社は、ノートがなく、指導書やデジタル教材の中に入っているワークシートを活用します。こちらは児童の実態や授業展開に応じて発問を選んだり、発問を考えたりできます。またワークシートを加工もできます。教育出版は発問がいろいろ用意されており加工しやすいのではないかと考えています。ノートのあるなしについては、それぞれ一長一短があります。

(会長)

よろしいでしょうか。

(委員)

今回推薦された教育出版の本は、愛知の教育の理念の関連のところ、人の生き方から学ぶ教材ということが言われていますが、どのような人物を採り上げていますか。

(研究員)

今までは歴史的な偉人が多かったですが、それに加えてスポーツ選手、科学者、企業家などさまざまな分野で活躍している人を採りあげられています。

(会長)

よろしいですか。そのほか皆さん方どうですか。

よろしいでしょうか。では、2人の研究員の方ありがとうございました。退席をしてください。

#### <研究員退室>

(会長)

それでは、研究部の意向は教育出版ということでございます。ご意見がありましたらお願いします。

(委員)

研究員の方々本当にご苦労なさって、教育出版をあげていただきました。それぞれの出版社のいいところがあり、あげていただきましたが、一つ引っかかるのは政治色が懸念される写真がありました。私も見ました。これはおっとと思いました。あえてこのような写真が載っているものを採用するのは、やめた方がいいのではないかと私はずっと思いました。私は教育出版も日本文教出版も見ましたが、日本文教出版の方が、とにかく挿絵が多いし、イラストが多く、特に低学年が興味を持って道徳に取り組めるのではないかと思います。それから、道徳の学び方の基本が「気づく、考える・深める、見つめる・生かす」というようにしっかりしていると思います。また、学習の手引きがあって、問題をつかみ自分なりに考えてみよう、話し合おうというパターンがよく出てきます。そもそも道徳の授業展開は難しいですが、教師にとっても扱いよいのではないかと思います。ノートも教師にとって活用しやすいのではないかと私は思いました。私も長年道徳を指導しており、教育出版はイラストも少なく、今まで使っていた明るい心に勉強の仕方が書いてある程度で、教材をどう展開するのかを考えると、内容的には、日本文教出版の方が良いと思っています。

(会長)

今の意見に関連するご意見があれば、お願いします。

(委員)

内容と関係ない現職の政治家の写真が使用されている点では、市民感覚としては違和感を覚えます。研究会が研究を重ね2社に絞ったのであれば、日本文教出版を選んだ方が良いのではないかと考えます。

(委員)

先ほど、「本文を重視して選定した」と研究員の方がおっしゃいました。道徳は教科書だから本文以外も見るわけです。そうすると文章だけではなく挿絵や写真との関連性も見なければいけないと思います。そう考えたときに、現職の政治家が本文とは無関係なのに載っているのは、意図がわからないし、子どもに与える影響はあるように思います。写真も考慮して選ばなければいけないと思うので日本文教出版が良いのではないかと思います。

(会長)

他にご意見はありませんか。

(委員)

私たちの教育委員会では、8社すべての教科書を見ました。教育出版のページに関してはインパクトが強いと感じました。道徳的な価値というのが、違った方向に行ってしまうのではないかと。という意見がありました。題材や人物を選んでいるが、教育出版や人物選びの視点で偏っているのではないかと、思いました。日本文教出版はノートがあるが、友達の意見を書くところを含め、授業をしやすいものになっているという教育委員の感想もありました。

(委員)

教科書にノートがついていること自体が、必要なかどうかという疑問があります。内容的には教育出版よりも日本文教出版の方がよいということはあると思いますが、個人的な考えとして教科書にノートがついているが疑問に思います。あと、現場の先生方のご意見もお聞きしたいという思いがあります。

(委員)

私たちも教育委員会で8冊を読みましたが、やっぱり現職の政治家の写真にひっかかりました。今回初めての採択であえてこのような教科書を選ばなければいけないのか、というのが率直な思いです。現職の政治家が出てくることについては、いろんな受け止め方が出てくると思いますが、できるだけ避けるべきではないかと思えます。私的には、子どもらしい挿絵があるものは他の出版社にもありますが、研究員が研究し尽くして選んでいただいた2社の中からであれば日本文教出版がいいのではないかと思いました。

(会長)

先ほど現場の先生の声をお聞きしたいという意見がありましたので、意見をお願いしますか。

(委員)

内容的には、日本文教出版がよいと思えます。ただ、別冊のノート関係は必要なのかという点では疑問が残ります。自分たちで作ることによって先生たちの個性や考え方が出きますし、決まりきった形だと、これに沿ってやっていけばいいと考えてしまう先生も出てくると思えます。また、日本文教出版は教科書とノートのサイズが違う点が、子どもたちにとっては扱いにくいということをおもいました。

(会長)

もうひとり現場の声をお聞かせいただきたい。

(委員)

現場の代表ということで、以前に道徳の研究発表をやったということで、全部の教科書を読んで、数年前の教科書と変わっていないと思えました。特に小学生では書くことに時間をとられ、書くことが嫌でやりたくない、国語の時間ではありませんので、書くために道徳があるわけではなく、書く時があってもいいし、なくてもいいと一般的に言われています。教科書会社は書いて使ってもいいし、書かなくて使ってもいいと考えていて、付録的な扱いでノートを作成しています。しかし、現場は使用しなければならないという拘束力を感じてしまいがちです。もう一点は、現役で生きている人物の題材は、何を起こすかわからない、いわゆる不祥事が心配です。昔から使われている、実際はないお話の中でも、話し合っただ議論する中で、道徳的価値観を広げることが道徳の授業であると思えます。

2社以外にも、名作を多く採り上げている出版社も魅力を感じました。

(委員)

ノートの件が出ていますが、やっぱりこれは引っかかるなと思えます。これを今日決めるのか、決めないのか。研究員の提案は2社でした。1社は政治的要素があるので、日本文教出版でどうかということでしたよね。しかし、ノートの件で問題が出てきているので、これは整理しないとイケないと思えます。日文以外のところで別冊があるのが3社でした。そうすると後の5社はどうするのかでしょう。ノートを強制してしまうということが問題だということであれば、その他の出版社の情報もここで共有していくことが必要になると思えます。今日決定しなければいけないのかということをおもいます。

(会長)

それについては、本協議会の性格上今日決めたいと思えます。もし必要であれば研究員を再



度入室させて、質問に答えていただきますが、何しろ今日は結論を出したいと思います。

(委員)

教科書を使って教えるという立場なので、ノートが気になります。海部地区には海部カリがあって、それをもとに授業を進めています。研究員のみなさんが日本文教出版も内容的にすばらしい、これはしっかりしているという報告をしてくださいました。ノートをどう活用していくのかは、海部カリで活用を考えていけば問題はないのではと思います。会長の言うように、戻して考えるのではなく、今日この場で決めていただくのがいいと思います。

(委員)

委員のおっしゃったことはもっともですが、ノートがついている教科書って今までありましたか、そういった教科の教科書はなかったと思います。海部カリでということもありますが、教科書についているということは、対のものになっているのではないかと思います。教育出版はまずいよとなつて、2番手のノートがついているものを本当に選んでいいのかという心配があります。そのほかの教科書でも、研究員に中身をもう一度教えていただいて、それ以外の教科書で論議するのはどうでしょうか。

(委員)

教育出版の件ですが、写真以外は問題がないということですよ。それだけで判断されるというのであれば、親としては写真以外の面ではどうなのでしょう。ノートですが、ノートはセットになっていますが、漢字ドリルなども同じ、手取り足取りというようになっていきます。ノートがあるとある程度の部分は面倒みられている状態になっているような気がします。書けば満足するような部分が心配です。

(委員)

現職の政治家以外に気になる点があります。現在活躍中の若い方を採り上げているのは、今後危険性があります。偉人などを採り上げることなら心配ないが、少し若い方を採り上げすぎているという心配があります。

(委員)

私も、掲載されている体操選手は若すぎると思います。採り上げて何を言おうとしているのかが分かりません。

(会長)

そういう心配はありますが、人物を採り上げていない道徳の教科書はないわけで、子どもたちが興味関心を示しやすいと思います。あまり古い人を採り上げても「ああそうなの」という感じで、あまり深く伝わらないおそれがあると思います。検定を通っている以上は、そのあたりの危険性は致し方ないように感じます。もしもの時には次回の選定で見直せばいいのであって、今回の選定が永遠に続くわけではないと考えます。危険性はあるとわかっている、人物を捉えなければ道徳は前に進まないと思います。国民栄誉賞を若い世代に与えているのも同様で、リスクはありますが、現在生きている人物が載っていてもよいのではないかと思います。

(委員)

他の教科書も現役の方が載っています。障害のあるスポーツ選手、金メダリストや引退したプロ野球選手もありますが、現職の政治家は心配です。

(委員)

話は変わって、自分たちも8社の中から選ぶのは大変でした。ノートはないものから選んでみようかと検討してみましたが、研究員の方はすごく研究され選んだものだと思います。ノートが書かれていないと心配になりますが、教科書のおりではなく、指導要領にのっとなってやっていますので、書いてなくても学習しましたという違う切り口でやるときがあってもいいと

思います。

(会長)

使うときにノートが評価の裏表として見られがちだというのも事実ですが、各学校で研究していけばよいと思います。

まとめますと、調査研究の方が教育出版を推していました。2つ目が日本文教出版で2つの出版社が競っていました。前者は現職の政治家の写真に載っています。これは、内容に関わっていない部分で写真に載っていることが問題になるのではないか。そのようなものをあえて海部地区で選定する必要があるのかという意見が出ました。

ノートの使い方について意見が出されました。確かに心配はあると思います。しかし、新しい教科になるので新しい解釈のしかたで進めることができるように思います。

また、3番目、4番目のものを採り上げていくという意見がありましたが、研究員は研究をし尽くした結果、教育出版、日本文教出版で甲乙つけがたいとの報告でした。いかがでしょうか。

(委員)

ノートの面もありますが、2社が競っているということであれば、2社から選ぶが大切だと思います。研究員は、3回の会合を持ち、研究を積み重ねて2社を選んだと思います。研究会が選んだ2社の中から選んでいくのが良いと思います。

(会長)

議論は出尽くしましたか。

それでは、意思表示をしていただきます。協議会ですので最終的には結論を出したいと思います。意見が分かれても多い方を採りたいと思います。少数の方がいても選定の結論を尊重していただきたいと思います。各市町村教育委員会は採択地区協議会の協議結果に基づき教科書を採択していただくことになります。

研究会の方は教育出版を推しています。多くの委員の皆様から日本文教出版という意見が多く出されております。挙手で決めたいと思います。では、日本文教出版を選定するという方の挙手をお願いします。

全会一致で採択協議会としては日本文教出版を選定します。

慎重かつ公正な協議をいただき、ありがとうございました。

選定結果を確認します。

※ 事務局が出版社名を手書きした一覧表を渡す

海部地区において、平成30年度に『特別の教科 道徳』（小学校）で使用する教科用図書は日本文教出版になりました。ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

## 5 閉会のことば

(事務局員)

会長、お取り回しありがとうございました。また、慎重にご協議をいただき、ありがとうございました。

この後の予定についてご説明申し上げます。

「教科書採択に係る今後の流れ及び留意点について」をご覧ください。

明日付で、各市町村教育委員会へ選定結果を通知させていただきます。8月10日ごろまでに各市町村教育委員会での採択結果を、2枚目からの様に、本協議会へご報告下さい。様式が海部教育事務所と同じものを使用しております。宛先だけ本協議会会長あてに変えてあります

ので、ご留意下さい。また、道徳以外の教科用図書については、平成29年使用の教科用図書と同様のものを採択ください。協議会の選定結果は出ましたが、8月31日まで、採択結果は非公開となっております。本日の協議会で知り得た内容は、9月1日まで口外なされませんようよろしくお願いいたします。

お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の協議会要項や研究報告書については机の上に置いてお帰りください。

以上をもちまして、平成29年度 教科用図書採択海部地区第2回協議会を終わります。

本日は本当にありがとうございました。